

世界のソーシャル・ビジネス

米国
ガーデナ「テスラ」に好敵手
EVレースカー発表

電気自動車 (EV) の代名詞とも言える「テスラ」の
人気が高まるなか、2014年に「テスラ」の対抗馬と噂
され設立されたのが「ファラデー・フューチャー」(米
カリフォルニア州ガーデナ)だ。2015年12月には、ネ
バダ州に10億ドル(約1138億円)を投入する生産工場の
建設予定を発表。2016年1月には世界最大の家電見
本市「CES2016」で、ベールに包まれていたコンセプト
トカーを発表し、今最も注目を集めている。

(寺町 幸枝)



コンセプトカーとして登場した「FF ZERO 1」

「ファラデー・フューチャー
(FF)」の生い立ちは、「テス
ラ」なくして語れない。共同
オーナーであるシニア・バイ
スプレジデントのニック・サ
ンプソン氏をはじめ、「テス
ラ」のエンジニアや生産管理
にかかわってきた人間が独立
して設立した背景を持つ。
コンセプト上では、「テスラ」
以上に未来に重きを置いてい
るといってもいいだろう。

その夢を実現させるために
財政的にも後押ししているの
が、中国版「Netflix」と呼ば
れる「LeTV」だ。「LeTV」の
共同オーナーであるデイング・
レイ氏は、CES2016で
全面的な協力関係を築いてい
ることを強調。「省エネで、環
境に考慮し、機能的な車づく
りを目指す」という明確な
コンセプトを発表した。

そのコンセプト通り、すで
に100以上の技術に特許申
請出願中という同社。3月1
日に取得した特許第一号「F
F Echelon Inverter」は、先
駆的で、従来に比べてずっと
機能的だという。

分野を超えた車づくり

FFの強みは「素晴らしい
チーム」「革新的なビジョン」
「信じられないほど素晴らしい
協力関係」「素早い行動力
がある」の4つだ。

設立から1年半という短い
間で、500人の国内従業員
と250人の海外従業員を持
つまでに急成長した同社。米
オンラインメディア「ザ・バー
ジ」のインタビューにおいて、
先述のサンプソン氏は、「BMW
W、Audiなどの車業界はもち
ろん、Apple、Huluといった
幅広い業界から、未来の車作
りに携わるメンバー集めてい
る」と言及した。

2017年から生産開始を
予定している同社は、北ネバ

ファラデー・フューチャー・シニア・バイ
スプレジデントのニック・サンプソン氏

「ドライバーが求
めるあらゆるもの
を学習していく」
車になるという。
車という概念を超
えた車づくりを目
指すFF。彼らが
目指す未来はもう
すぐそこだ。

ダ州に新設する工場で、
4500人規模の雇用を創出
するという。敷地は900
エーカー(東京ドーム約78個
分)と広大だ。同社にとって
「スピード感」こそ強みであ
り、「テスラ」が創業から7年
以上かかって生産販売に辿り
着いた経緯を考えると、「FF
」の動きは驚くほど早い。

今回コンセプトカーとして
発表された「FF ZERO
1」は、なんとレーシングカー。
BMWで「E3」や「E8」のヘッド
デザイナーとして活躍してき
た同社ヘッドデザイナーのリ
チャード・キム氏の渾身のデ
ザインだ。

ハンドルにはスマート
フォンを装着し、様々な機能
をタッチパネル式で実現する。